参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年2月19日
更新年月日	令和8年9月30日 （1回目）
目標年度	令和14年度
市町村名 （市町村コード）	近江八幡市 （252042）
地域名 （地域内農業集落名）	大房町 （大房）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	51.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	51.8 ha
② 田の面積	51.8 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2） 地域農業の現状及び課題

・耕作者の高齢化や減少が進み、担い手に耕作地が集積、集約されてきている。
・一方、集落営農の作業者が高齢化、作業量が増加しており、解散を視野に入れている。
・圃場の土地改良による区画整理が行われてから50年以上経過し、暗渠、水路など老朽化している。
・資材の高騰や環境の変化（温暖化）による収量の減少などにより経営が悪化している。
・離農者が増え、農業への関心が薄れ、農村特有の横のつながりが希薄化しつつある。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・水稲を主体に転作として麦、大豆、そばの栽培に取り組む。
・効率的な農業を推進するため農地の集積、集約化をすすめ、土壌分析やスマート農業についても積極的に取り組む。
・地権者、非農家も含め、農道、水路、周辺の保全管理を維持、推進する。
また、地権者の方も可能なら田んぼの草刈り、水管理などの協力を得て、つながる関係を維持する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構を通じ、町内の担い手を中心に圃場の集積、集約化に取り組む。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	74.3 %	将来の目標とする集積率	75.1 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

効率的な農業を推進するため、継続的に団地数の削減及び団地面積の拡大を推進する。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
継続して定期的に集落での話合いを行い、目標地図の見直しを行ない、農地の集積、集約化を推進する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の賃借については、農地中間管理機構を通じて行っていく。さらに地権者の貸付け意向を考慮し、担い手の経営意向に照らして、できるところから集約化を推進する。
(3)基盤整備事業への取組
耕作条件改善事業などを活用し、農地の大区画化や老朽化している暗渠施設の改修などに取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
経営規模の小さな農家であっても、農業を継続したい農家にはできる限り農業を続けてもらう。また新規就農者があるなら地域で育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

□	①鳥獣被害防止対策	☑	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	□	④畑地化・輸出等	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	□	⑦保全・管理等	☑	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携等	□	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②環境こだわり米、有機米など環境に配慮した作物の栽培を推進する。
③省力化や効率化が可能な自動操舵農機の導入やドローン活用のこまめな施肥技術の導入などを検討する。
⑧適宜に老朽化している用水路の補修や農道の補修などを行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後(目標年度:令和　年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	17経営体		48.4 ha	0 ha		52.29 ha	0 ha		

別紙のとおり

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目

6　目標地図（別添のとおり）

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和 14 年度）				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農		水稲、麦、大豆	13.94 ha	ha	水稲、麦、大豆	14.92 ha	ha		
2	認農		水稲、麦、大豆	11.2 ha	ha	水稲、麦、大豆	11.7 ha	ha		
3	認農		水稲、麦、大豆	4.84 ha	ha	水稲、麦、大豆	4.36 ha	ha		
4	認農		水稲、麦、大豆	7.70 ha	ha	水稲、麦、大豆	6.93 ha	ha		
5	利用者		水稲、麦、そば	1.46 ha	ha	水稲、麦、そば	2.02 ha	ha		
6	利用者		水稲、麦、大豆	2.32 ha	ha	水稲、麦、大豆	3.38 ha	ha		
7	利用者		水稲、麦、そば	1.07 ha	ha	水稲、麦、そば	1.07 ha	ha		
8	利用者		水稲、麦、大豆	0.97 ha	ha	水稲、麦、大豆	0.97 ha	ha		
9	利用者		水稲、麦、そば	1.48 ha	ha	水稲、麦、そば	3.15 ha	ha		
10	利用者		水稲、麦、大豆	0.83 ha	ha	水稲、麦、大豆	0.88 ha	ha		
11	利用者		水稲、麦、そば	0.81 ha	ha	水稲、麦、そば	0.83 ha	ha		
12	利用者		水稲、麦、そば	0.61 ha	ha	水稲、麦、そば	0.81 ha	ha		
13	認農		水稲、麦、大豆	0.51 ha	ha	水稲、麦、大豆	0.61 ha	ha		
14	利用者		自己保全	0.3 ha	ha	自己保全	0.3 ha	ha		
15	認農		水稲、麦、大豆	0.26 ha	ha	水稲、麦、大豆	0.26 ha	ha		
16	認農		養鶏	0.08 ha	ha	養鶏	0.08 ha	ha		
17	利用者		野菜	0.02 ha	ha	野菜	0.02 ha	ha		
18				ha	ha		ha	ha		
19				ha	ha		ha	ha		
20				ha	ha		ha	ha		